令和2年度 愛知県山岳連盟　冬山入山計画状況(愛知岳連の各山岳会・理事用)

作製:2020/12/16

下山報告:団体連絡先{下山報告受付期間:12/26～1/6}

山域		
A.穂高	7パーティー	24
B.剱・後立	2パーティー	4
C.八ヶ岳	7パーティー	49
D.南ア	3パーティー	5
E.その他	2パーティー	7
		89

団体名	連絡先		パーティー	人数
豊橋山岳会	浦川陽子		4	19
名古屋山岳会	坂口弘記		4	10
やまびこ山窓会	中平等新一		2	5
GSA	羽田明史		2	4
春日井山岳会	鮎沢清次		2	4
MMC岡崎山岳部	酒井悠介		1	9
日本山岳会東海支部	高橋玲司		1	12
岡崎山岳会	加藤明美		1	3
豊川山岳会	浅田俊夫		3	13
豊田山岳会	竹中良文		1	10
			21	89

愛知県山岳遭難防止協議会会長　安藤　武典
愛知県山岳連盟会長　安藤　武典
愛知県山岳連盟理事長　北村　憲彦
愛知県山岳連盟遭難対策委員長　中川　邦仁

山域	No.	所属団体	登山形式	登山期間	登山コース 入山地	登山コース	登山コース 下山地	人数	リーダー氏名	緊急連絡先氏名	
A 穂高	1	名古屋山岳会	往復	12/26～29	中の湯	上高地～明神南西尾根～明神主峰～明神南西尾根～上高地	中の湯	3	吉居寛記	坂口弘記	
	2	名古屋山岳会	縦走	12/26～1/1	新穂高温泉	西穂高口～西穂高岳～ジャンダルム～奥穂高岳～蒲田富士～白出沢出合～新穂高温泉駅	新穂高温泉	2	近藤英佐夫	坂口弘記	
	3	MMC岡崎山岳部	往復	12/26～12/28	中房温泉	中房温泉～燕岳～中房温泉	中房温泉	9	青木貴祥	酒井悠介	
	4	春日井山岳会	山スキー	12月26日	リゾート乗鞍ス	位ヶ原～摩利支天岳～位ヶ原	リゾート乗鞍ス	2	坂口公美	三浦敏弘	
	5	豊橋山岳会	縦走	12/27～1/2	葛温泉	湯俣～2200m(幕営)～硫黄岳～硫黄台地(幕営)～赤岳前衛群～赤岳(幕営)～槍ヶ岳～槍ヶ岳山荘(幕営)～飛騨沢	新穂高	3	木村 崇	久保田敏康	
	6	春日井山岳会	山スキー	12月27日	中の湯温泉	南尾根～焼岳～下堀沢	大正池	2	坂口公美	三浦敏弘	
	7	名古屋山岳会	縦走	12/29-1/2	新穂高温泉	南岳西尾根～南岳～槍・大喰岳～大喰岳西尾根	新穂高温泉	3	吉村　賢	坂口弘記	
B 剱・後立	8	GSA	往復	12/26～1/5	馬場島	早月尾根～剱岳～早月尾根	馬場島	2	内田雅人	羽田明史	
	9	名古屋山岳会	往復	12/31～1/3	鹿島山荘	爺ケ岳東尾根～爺ケ岳～爺ケ岳東尾根	鹿島山荘	2	丹羽大輔	坂口弘記	
C 八ヶ岳	10	豊田山岳会	往復	12/26～28	稲子湯	本沢温泉～天狗岳～黒百合ヒュッテ	稲子湯	10	山本幸久	森田金秋	
	11	豊川山岳会	往復	12/26～27	渋沢温泉	黒百合ヒュッテ～天狗岳	渋沢温泉	7	河合　芳尚	河合晴子	
	12	日本山岳会東海支部		12/26～12/27	美濃戸	赤岳鉱泉～硫黄岳～赤岳鉱泉	美濃戸	12	栗木洋明	服田康宏	
	13	やまびこ山想会	往復	12/29～30	美濃戸	行者小屋～赤岳～行者小屋	美濃戸	4	宮森千治	中平等新一	
	14	GSA	定着	1/1～1/2	赤岳鉱泉	周辺アイスクライミング石尊稜ピーク登攀	赤岳鉱泉	2	濱田正人	羽田明史	
	15	豊橋山岳会	アルパインアイス	12/27	舟山十字路	広河原左俣～広河原中央稜	舟山十字路	2	浦川陽子	久保田敏康	
	16	豊橋山岳会	雪山登山	1/3	唐沢鉱泉	第一・二展望台～西・東天狗岳～黒百合平	唐沢鉱泉	12	鈴木克巳	久保田敏康	
D 南アルプス	17	豊橋山岳会	アルパインアイス	12/30～1/4	竹宇神社	黒戸尾根5合目(幕営)～黄連右俣～甲斐駒ケ岳頂上～5合目(幕営)	竹宇神社	2	岩本英基	久保田敏康	
	18	やまびこ山想会	往復	1/2～1/4	竹宇神社	黒戸尾根～甲斐駒ケ岳頂上～黒戸尾根	竹宇神社	1	宮森千治	中平等新一	
	19	豊川山岳会	イスクライミン	12/30～1/1	戸台	丹溪荘周辺「舞姫の滝」・「奥駒津沢」	戸台	2	白井良岳	白井幹郎	
E その他	20	豊川山岳会	往復	12/29～30		越百山(往復)		4	河合　芳尚	河合晴子(妻)	
	21	岡崎山岳会	往復	12/27～1/3	檜新宮参道登山口	加賀禅定道～白山～加賀禅定道	檜新宮参道登山口	3	窪田大地	坂口留美子　～12/29	

注意事項

1.計画書は家族・緊急連絡先へ提出する。
2.予備日と非常食は必ず準備する。
3.現状メンバーの技術に沿った計画とする。
4.各隊の救助体制を決めておく。
5.山行中は、自分の現在地を見失わない。
6.雪崩・雪庇踏み抜き滑落には、充分注意する。
7.悪天候でヘリの飛べない日が続くことが有るので
8.認識の決断を早めに対応する ～ 事故になったら
　セルフレスキュー(他パーティへの、救助要請)
9.所属山岳会への連絡(警察への救助要請確認)・

事故連絡先を決める(遭難者隊連絡先とは別とする)
11.岳連への報告・救助依頼→遭難事故報告書
　事故連絡先を決める(遭難者隊連絡先とは別とする)